

PRESS RELEASE

2021年3月2日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、Webサイトの改ざんを検知し、迅速な復旧を支援する 「IIJ改ざん常時監視・復旧ソリューション」を提供開始

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎)は、Web サイトを常時監視し、改ざんを瞬間的に検知してサイトの迅速な復旧を支援する「IIJ 改ざん常時監視・復旧ソリューション」を本日より提供開始いたします。本ソリューションを導入いただくことで、お客様は自社サイトを Web 改ざんの脅威から防御し、安全に運用することが可能になります。

Web 改ざんとは、悪意ある攻撃者が Web サイトを不正に操作してコンテンツを書き換えたり、不正プログラムを組み込んだりするサイバー攻撃のことで、主要なセキュリティインシデントの一つと位置付けられています。改ざんにより、フィッシングサイトへの誘導や、サイト訪問者の端末がウイルス感染し情報漏洩するなどの被害事例が発生しており、このような実被害に加え、企業のイメージダウンにつながるケースもあるため、企業にとって Web 改ざん対策は不可欠なものとなっています。

一方で、改ざん対策機能の導入には、システムの構築や運用の負荷が高いという課題に加え、改ざん対策を導入しても、Web 表示のための設定ファイルやコンテンツファイルのなかでどのファイルが改ざんされたのか、問題の特定に時間がかかり迅速に復旧できないといった課題がありました。これらの課題を解決するため、IIJ では、瞬間検知・瞬間復旧が可能な常時監視型の本ソリューションを提供いたします。

■IIJ 改ざん常時監視・復旧ソリューションの特徴

常時監視により、改ざんの瞬間検知・瞬間復旧を実現

本ソリューションでは、監視対象のサーバに監視ソフトウェア(エージェント)をインストールし、Web サイトを常時監視します。コンテンツファイルだけでなく、設定ファイル、システムファイルの OS イベントを常時監視することにより、変更・追加・削除が行われたと同時に改ざんを検知して、設定された宛先にメール通知します。改ざん検知後、0.1 秒以内にバックアップデータから自動復旧されるため、お客様は安心・安全に Web サイトを運用することが可能となります。

管理サーバをクラウド型で提供し、運用負荷を軽減

管理サーバは IIJ がクラウド上で運用するため、サーバの準備や運用、保守に関わるお客様の作業負荷を軽減します。お客様は IIJ が提供する管理サーバへアクセスすることで、Web サイトの監視や検知された改ざんの確認、バックアップの設定などが可能になります。コンテンツ等の重要な情報はお客様の Web サーバ上で管理され、クラウド上の管理サーバに保存されることはないため、安心してご利用いただけます。

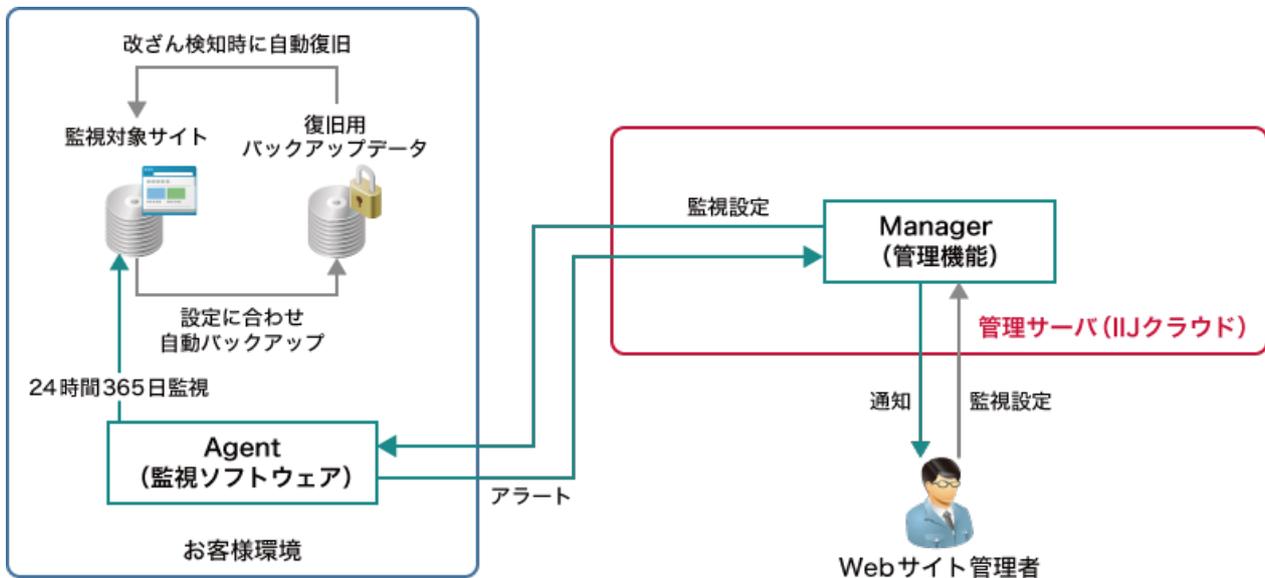
容易に証拠保全が可能

監視モードは「通知」「復旧」「保全」の 3 つのモードから選択が可能です。保全モードに設定することで、どんなファイルがアップロードされたのか、ファイル操作の履歴を記録し、不正にアップロードされたファイルの証拠保全を容易に行えます。お客様は、フォルダ毎に監視設定の ON/OFF や用途に応じた監視モードのレベルを細かく設定できます。

■参考価格

68,000 円(税抜)/月～(2 エージェント)

■イメージ



➤ 本ソリューションの詳細は <https://www.ij.ad.jp/biz/web-change/> をご覧ください。

IIJ は今後も、「安全をあたりまえに」をコンセプトとするセキュリティ事業ブランド「wizSafe(ウィズセーフ)」の下に、インターネットを誰もが安心して安全に使える社会インフラへと発展させるべく、活動してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail:press@ij.ad.jp <https://www.ij.ad.jp/>

※ 本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。